

関西観光・文化振興計画（最終案）
中間案からの主な修正箇所

パブリック・コメントや、広域連合議会常任委員会等からの意見を受け、中間案から以下の点について修正

（計画サブタイトル）

区分	変更点	
変更	（旧） 「2020年 外国人観光客1,800万人を目指して」	（新） 「アジアの文化観光首都を目指して」

3 現状と課題

（2）課題

区分	変更点	
追記	（旧） なし	（新） ●旅行消費額の拡大 ・計画の目標に訪日外国人旅行消費額を掲げており、観光振興の大きな目的の一つが地域経済の活性化であることから、旅行者数を増やすだけでなく、都市部にとどまらず関西全域で旅行消費額を拡大させることを念頭に置いた取組を進める必要がある。

5 目標達成のための戦略

戦略テーマⅠ 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

② 文化プログラムの推進

戦略テーマⅡ 文化力の向上と文化観光の推進

① 「文化首都」関西の世界への発信

② 文化力の向上

区分	変更点
表現修正	・文化と経済との関連性について言及するとともに、文化首都を目指す関西の幅広い文化について例示を追加するなど、表現を修正。

戦略テーマⅢ 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

⑥ 宿泊施設不足への対応

区分	変更点	
追記	(旧) なし	(新) ・住宅宿泊事業いわゆる民泊については、それぞれの構成府県市の地域の実情に応じた取組を尊重し、各地における優良な民泊に関する情報発信等を行う。

(新設)

戦略テーマⅤ 旅行消費額拡大に向けた取組

区分	変更点	
追記	(旧) なし	(新) ① 旅行消費単価の上昇 ・「美の伝説」など、多彩な広域観光周遊ルートによる滞在期間の長期化や、関西の多彩なコンテンツを活用した、食・スポーツ・カルチャー体験等、コト消費のアピールを強化する。 ・外国人観光客のナイトライフに対するニーズを満たすため、夜間営業・開館やライトアップを行う施設等の情報を集約し、一体的に発信する。 ② 決済環境の整備（※他の項目から移動） ・外国人観光客のショッピング促進を図るため、免税店の拡大、決済環境の変化に対応した整備を進める。